

米国向け輸出柿 防除暦例

鳥獣害対策課

刀根早生柿では①～⑬による防除を実施

	防除時期	適用病害虫	防除薬剤	希釈倍数
①	4月中旬 (展葉期)	ハマキムシ類	チューンアップ顆粒水和剤(前日/ー)	4,000倍
②	4月下旬	カイガラムシ類幼虫	アブロード水和剤(開花期まで 但し、45日前/2回)	1,000倍
③	5月上旬 (開花初期)	アザミウマ類、カイガラムシ類	モスピラン顆粒水溶剤(前日/3回)	2,000倍
④		落葉病、炭疽病、うどんこ病、灰色かび病	ナリアWDG(前日/2回)	2,000倍
⑤	6月上旬 (入梅期)	うどんこ病、炭疽病、落葉病	スコア顆粒水和剤(前日/3回)	3,000倍
⑥		カキノヘタムシガ、アザミウマ類、カイガラムシ類、カメムシ類	モスピラン顆粒水溶剤(前日/3回)	2,000倍
⑦	6月中下旬	アザミウマ類、カイガラムシ類	モベントフロアブル(7日前/3回)	2,000倍
⑧		うどんこ病、すす点病、炭疽病、落葉病	フルーツセイバー(前日/3回)	1,500倍
⑨	7月上中旬	うどんこ病、落葉病、炭疽病	スコア顆粒水和剤(前日/3回)	3,000倍
⑩		コナカイガラムシ類、アザミウマ類	ダントツ水溶剤(7日前/3回)	2,000倍
⑪	8月上旬	コナカイガラムシ類、カキノヘタムシガ、カメムシ類、アザミウマ類、ケムシ類	キックオフ顆粒水和剤(前日/3回)	2,000倍
⑫	8月下旬	うどんこ病、すす点病、炭疽病	アミスター10フロアブル(7日前/3回)	1,000倍
⑬		コナカイガラムシ類、カメムシ類	スタークル顆粒水溶剤(前日/3回)	2,000倍

富有柿では①～⑬に加え以下の⑭～⑮による防除を実施

⑭	9月下旬	うどんこ病、落葉病、炭疽病	スコア顆粒水和剤(前日/3回)	3,000倍
⑮		コナカイガラムシ類、カメムシ類	ダントツ水溶剤(7日前/3回)	2,000倍

※ 抵抗性が発達しやすい系統の薬剤は運用を避ける。

※特殊防除

	防除時期	適用病害虫	防除薬剤	希釈倍数
①	発生時	カメムシ類	ダントツ水溶剤(7日前/3回)	2,000倍
②			スタークル顆粒水溶剤(前日/3回)	2,000倍

注意点

- ※1 基本的に、防除薬剤は**単体で使用**してください。
- ※2 **高温期**における散布では、**薬害が発生する恐れ**がありますので特に注意してください。
- ※3 **ナリアWDG**には、「かきに使用する場合、**浸透性を高める展着剤を加用すると薬害が生じるおそれがある**ので、避けてください。」との注意書きがありますので、展着剤の加用はやめてください。
- ※4 **粗皮削り**:フジコナカイガラムシ、カキノヘタムシガ、コスカシバ、マダラメイガ等は樹皮下で越冬するので、冬季に粗皮削りを実施する。
- ※5 **残渣の処理**:落葉、せん定くず等は園外に持ち出し適切に処分する。
- ※6 **病害虫の発生状況の把握と物理的防除**:定期的に園内を見回り、病害虫の発生状況を観察および確認し、発生部位を取り除く。

この防除暦は、米国向けに輸出するために作成した一例です。